

令和4年11月25日

応募者 各位

熊本大学発生医学研究所長
丹羽 仁史
(公印省略)

熊本大学発生医学研究所 器官構築部門 生殖発生分野 准教授候補者又は助教候補者の公募について

発生医学研究所では器官構築部門生殖発生分野の准教授候補者又は助教候補者の公募を行います。主宰者(中村 輝)と協力して、生殖発生分野における研究教育活動を展開すると共に、候補者独自のアイデアにもとづいた研究を推進し、概ね10年以内に独立して研究室を主宰する希望を持つ、新進気鋭の研究者の応募を期待しています。

発生医学研究所は、発生学的視点による生命科学領域における国際水準の研究活動と人材育成を行うことを使命としています。文部科学大臣認定の「発生医学の共同研究拠点」として研究者コミュニティの共同研究を推進するとともに、「高深度オミクス医学研究拠点ネットワーク」の一員として、単一細胞レベルの高精度・高分解能データを統合する研究プラットフォームの確立をめざしています。また、リエゾンラボ研究推進施設を設置し、博士号をもつ複数の技術専門職員による支援体制のもと、NGS解析、FACS、質量分析、イメージングシステム等、最先端の共通機器の管理・運営とその解析支援を行っています。さらに、隣接する生命資源研究・支援センターでは、敏速な遺伝子改変マウスの作成支援とそれらを用いた動物実験環境が整備されています。なお、生殖発生分野研究室にも、リアルタイムPCR装置や共焦点顕微鏡を含めた様々な研究機器が完備されています。

本公募では、このような研究環境を最大限に活用して独創的な研究を展開し、当該研究領域を牽引することのできる准教授又は助教を求めています。主宰者はこれまでショウジョウバエを用いた生殖細胞研究を展開してきました。候補者は、着任後に必ずしもショウジョウバエ研究に専念される必要はありませんが、主宰者と相談・協力して研究を推進する協調性のある方が望まれます。また、所内や学内外の研究者との交流・共同研究を進める社交性も必要です。例えば、ショウジョウバエ・マウス等のモデル生物における生殖細胞に関する先端的研究やショウジョウバエをモデルとした新しい視点の生命科学研究、ショウジョウバエとマウスとで進化的に保存された新たな生命動作原理の解明などについて、主宰者や研究室メンバーとも協力しながら独創性を発揮して研究展開して頂きたいと考えています。なお、本研究分野には、薬学部薬学科・創薬生命薬科学科の学部生、大学院薬学教育部の大学院生が所属し、卒業研究や修士・博士課程研究を進めています。学部学生の研究教育活動にも、積極的に携わる意思を持った人材を希望します。

※本研究所の研究教育活動につきましては、熊本大学発生医学研究所ホームページをご参照ください。
(<https://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp>)。

記

1. 募集職名及び人員 准教授又は助教 1名
2. 所属 熊本大学発生医学研究所 器官構築部門 生殖発生分野
3. 応募期限 令和5年1月9日(月) 必着
4. 採用時期 令和5年4月1日以降の早い時期(着任時期は要相談)
5. 任期
准教授: 5年(再任1回。審査により任期の定めのないテニュア転換が可能です。)
助教: 5年(再任1回。昇任した場合、審査により任期の定めのないテニュア転換が可能です。)

6. 提出書類

- (1) 推薦書 (1名)
- (2) 履歴書【別記様式1】
男女を問わず、出産、育児、介護に専念(あるいは従事)した期間について考慮することを希望される場合は、付記してください。
- (3) 業績目録【別記様式2】
- (4) 主要研究論文目録(総説を含む)【別記様式3】
- (5) 研究・教育に関する業績の概要【別記様式4】
- (6) 研究・教育に対する抱負【別記様式5】
- (7) 研究計画書【別記様式6】

※(2)～(7)の様式は、以下のホームページからダウンロードできます。

- ・熊本大学ホームページ[採用情報] <https://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujiouhou/saiyou/index>
- ・熊本大学発生医学研究所ホームページ[求人案内] <http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/>

7. 労働条件等

勤務形態 : 専門業務型裁量労働制

勤務時間は、職員の裁量に委ねるものとし、1日の勤務時間は7時間45分とみなす

試用期間 : 6か月

勤務場所 : 熊本大学本荘中地区

時間外労働 : 時間外、深夜、休日労働の有無 有

賃金等 : 国立大学法人熊本大学2号年俸制適用職員給与規則に定めるところによる

社会保険 : 文部科学省共済組合、雇用保険及び労災保険に加入

雇用者 : 国立大学法人熊本大学

8. 書類提出方法 メール送付

- ・応募者は「6. 提出書類」に記載の提出書類(2)～(7)の電子媒体(PDF)を送付してください。
- ・(1)推薦書は、推薦者から書類提出先へ直接メールにて提出してください。
- ・メールの件名は、「発生医学研究所生殖発生分野准教授又は助教公募書類の提出」としてください。
- ・送付容量上限は20MBまでとなっていますので、ご注意ください。ファイルサイズの合計が20MBを超える場合は、事前にメールにてお知らせください。提出用のURLをお送りします。
- ・提出書類を受領後、本件事務担当者から必ず受信確認のメールを返信しますので、3営業日以内に返信がない場合はお手数ですが上記の電話番号にご連絡ください。

9. 書類提出先・問合せ先

〒860-0811 熊本市中央区本荘2丁目2番1号

国立大学法人熊本大学 生命科学系事務部 生命科学先端研究事務課 センター事務チーム

TEL : 096-373-6637 E-mail : lys-senter-2@jimu.kumamoto-u.ac.jp

10. 本件担当ならびに問い合わせ先

熊本大学発生医学研究所 器官構築部門 生殖発生分野・教授 : 中村 輝

生殖発生分野 HP : https://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/bunya_top/germline_development/

11. その他

- ・選考に当たり、候補者各位にはセミナー並びに面談をお願いすることがあります(オンラインで実施する場合があります)。
- ・熊本大学は男女共同参画を推進しています。(詳細はホームページをご覧ください。<http://gender.kumamoto-u.ac.jp/>) 選考にあたっては、男女共同参画社会基本法に則り、適正に行います。また、発生医学研究所では独自の男女共同参画推進事業を行っています。現在、発生医学研究所における女性教員の割合は19%です。本選考にあたっては、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。
- ・学部および大学院における関連科目の講義・研究指導等をご担当いただくことがあります。

- 大学・研究所の運営や所内での社会的な活動（市民への講演など）にも参加をお願いすることがございます。
- 応募書類に含まれる個人情報は、国立大学法人熊本大学の定めに従い、当該選考のみ使用し、他の目的には一切使用いたしません。